

天理市立柳本小学校

「人権」という名の花を咲かせよう

人権擁護委員の方から柳本小学校に「人権の花・ミニひまわり」が届けられました。

子どもたちが、種をまき、水をあげたり、草をとったり、お日様がいっぱいあたるようにお世話をし、花のいのちを見守り育てることを通して、いのちの大切さや、仲間とともに心と力を合わせて一生懸命取り組むことの大切さを学ぶことをねらいとしています。

最初、3年生に「3年生でやってみない?」と声をかけました。

3年生からは、それならば、「1年生を迎える会ができなかったから、1年生と一緒にやるのはダメですか?」と提案がありました。



結果、「一緒にやって本当によかったなあ」と思いました。3年生の子どもたちは、「こっちへおいでや〜」と、上手に1年生をリードしてくれたり、プランターに石をしいたり、土をいれたりなどの下準備は3年生が担って、メインの植えは1年生にゆずってあげたりするなど、とても思いやりのある優しい姿をあちらこちらで見ることができました。

「人権の花」を植えるにふさわしい言動にほっこりしました。あとは、夏の水やりがもんだいなあ。(3年生が1年生と協力して育ててくれたらうれしいなあ。)



昨日の「ドラゴン桜」の名セリフが頭をよぎりました。

～人に迷惑をかける自分はいらない存在だと言う健太に対して・・・～

(見ていない人にはわかりづらくてすみません)

いらない命か? そんなもんあるわけねえだろ。できないからなんだ。そのために仲間がいるんじゃないか。あいつら今、一生懸命試験を受けてる。お前を勝たせたい一心でな。それでもお前はいらない命だって言うのか? できなかったら、迷惑かけたら邪魔なのか? だったら人間の都合で簡単に殺されてく虫も、生きるだけで邪魔なのか? 害なのか?

そうですね。この世にいない命なんて何1つないですね。

人間の命はもとより、虫の命も、花のいのちも・・・